

m.

That's Mine. It's Mine

GEO協議会だより

編集・発行：Mine 秋吉台ジオパーク推進協議会事務局

荒川地区の露天掘り跡に見学に行きました！

3月20日(金・祝)に、地元の方の案内により、ジオガイドさんが荒川地区(大嶺町奥分)の無煙炭露天掘り跡に行き、無煙炭の地層やポタを見学しました。これは地元の方からのお誘いを受け、ジオガイドさんが大嶺炭田について知るための現地研修として行ったものです。

当日は、地層に直接触れて観察しただけでなく、地元の方に炭鉱の記憶もお話していただき、参加者は熱心に耳を傾けていました。

では、無煙炭の地層は、一体どのようにしてできたのでしょうか？併せて下のコラムをご覧ください☆



ジオガイドコラムげなげなジオ話⑱ 大嶺炭田ができたところ

いったいどういう場所なんだろう

認定ジオガイド 檜崎知行

大嶺炭田のでき方について、素人が想像(妄想?)をふくらませている。

炭層は川の河口付近に堆積した美祢層群という地層にあるとか。炭田の広さは東西約8km、南北約12kmで川は現在の北から南へ流れていたらしいということがわかっているげな。

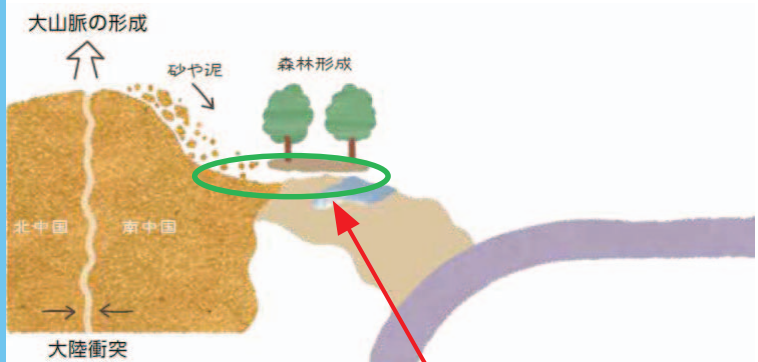
炭層ができはじめたのは約2億4,000万年前。アジア大陸の縁にあった「日本」が、西側が対馬付近を、東側が知床付近を軸に観音開きに開いて、日本海と日本列島ができるより、ずっと前になる。だから「北から南へ」は、当時の大陸の「西から東へ」を意味しているげな。

乱暴に想像すると、現在の長江(揚子江)のような感じが…。東西約8kmを川幅と考えると、長江には及びもしないが、現在の日本の最大級河川の数倍はある。河口近くには石炭になるシダ類が高々とそびえていたはず。美祢層群は石炭層を含む泥岩、砂岩、礫岩の層を何度も繰り返しているから、水源は遠いけれど水量は豊富で、普段は静かに流れて泥を堆積するが、ときどき激流になって大量の砂や小石(礫)を運んでくる…。同じ厚さの岩であっても、泥岩と砂岩・礫岩では堆積した時間は全然違うらしい。

妄想すらできないこともある。美祢層群の厚さは、出てくる数字を単純に足すと3000mにもなる。約1,000万年の間、海辺という状況が変わらないまま、そんなに厚く堆積するというのは、いったいどういうことなんだろう？



約2億4,000万年前の大陸配置と美祢層群のできた場所



大陸からの砂や泥が美祢層群をつくりました

地層のきほん



Adventure × GEO

Mine秋吉台ジオパークであそんじゃお☆
ジオガイドのススメ

『見る・聞く・触る・嗅ぐ・食べる』
五感を使って遊んで学ぶ！
それがジオパーク！



あそび方①

ケービングガイドと洞窟に行ってみよう！！
普段は立ち入ることのできない自然な状態の洞窟には、ジブリの世界を思わせる植物たちや、突如現れる小さな水の流れなど不思議がいっぱい。大きく口を開けた洞窟の入口は見るだけでウキウキします。

あそび方②

小さなワールドをのぞいてみよう！！
秋吉台と言えば、一面に広がる草原。その一面をルーペで覗いてみると・・・小さな小さなワールドが出現します。立ったままじゃ見えない小さな虫が一生懸命歩く姿や、1センチにも満たない植物たちがかきわけてすすまないとけないぐらいのジャングルに見えたり・・・少し視点を変えるだけで、いつもと違ったステキな世界が見えてきます。ここにあげた遊び方はほんの一例です。是非、ジオガイドと一緒にたくさん遊びませんか？



秋吉台アドベンチャーツアーズ お問い合わせ **080-4557-7329**

トリストラン便り vol.1



去年12月に日本ジオパークネットワーク（JGN）が開催した途上国のジオパーク人材育成ワークショップに参加するためタイに行きました。今回のワークショップは、タイやラオス、ベトナム、カンボジアや、ジオパーク活動を検討中の東南アジアの国からも関係者が集まりました。JGNの参加者は日本のジオパーク活動について経験や事例を共有しました。私も、ユネスコ世界ジオパークを目指しているMine秋吉台ジオパークの現状について発表し、日本ジオパークに認定されて5年間の経験を活かして色々なアドバイスをすることができました。ジオツアーにも参加したので、タイのジオパークを皆様にご紹介したいと思います。

国際交流員

イギリス出身

好きな食べ物：ステーキ

★コラートジオパーク

コラート地域は、首都のバンコクから車で4時間程離れたタイの真ん中に位置します。コラートジオパークの壮大な景色は「ケスタ」と呼ばれる、2つの層の衝突によってできた現象です。上の層が隆起した後、風化し穏やかな斜面になりました。

この他に、ゾウをはじめ恐竜や珪化木など、沢山の化石が発掘されています。ゾウの化石は、世界中で発見されている22種のうち、7種がコラート地域で発見されたそうです。

2つの層の衝突によって
できた「ケスタ」地形

